

学び ~普通なことと 普通じゃないこと~

見川昂夫

「学びとは一体何なのか。」ということを考えていきたい。

私たちは生活している中で様々なことを経験し、多くの情報や知恵を得ています。また得た情報をもとに次に同じような状況に置かれたとき何をどのようにするのか考え、自分が身に付けた情報をもとに工夫して行動しています。考えることで、自らが行ってきたことを見直し、間違っていたと感じれば新たに方法を見出しているのです。しかし考えるプロセスはその人によって様々で異なりますし、最終的に行き着いた到達点を比べてみても百人いたら百通りあるでしょう。知識を獲得することや物事について考えることが学びなのでしょうか。「学び」とは何なのであろうか。

私は学びを“自分探し”と名付けたいと思います。人が生きていく中で自分にとっての生きてゆく希望を探していくこと、そしてその過程で行なうことこそが「学び」であるのではないかと考えるためです。普通や平均的というものを心のどこかで意識しています。ニュースで報じられることに大きな関心が寄せられるのは普通でないことが目の前で起こっているからです。しかし普通というものを意識しすぎることは必ずしも良いことではありません。自分が自分なりの生活をする。自分をもって生活をする。素晴らしいことです。目標や夢をもって、それに向かって進んでいく。自分なりの手順を踏んで。もちろんそう簡単には自分の思うまま進んでいくだけで道を切り開くことは難しいでしょう。時には恥ずかしくもなります。現代社会の中で、自分なりを通すことは大変なこと。この世の中ではなおさらです。他と違うことをしていれば、蔑視さえ向けられることもあるかもしれません。しかし、自らの意志を通していくことで、生きていくことを実感していくことができます。自己を見つめ知る。そして他者を知る。この繰り返しによって学ぶことは実践されていくのです。

学ぶ上での体制はどうしていったら良いのでしょうか。それは教育を教師・生徒の枠を越え、共に考え、新たな発見をしていくことこそが共育であるということと表した共育と捉えることで成立していくのではないかと考えます。やはり実際には知識を説くというのが孕んできます。しかし教師が一方的な知識習得を押しつけているのでは学びは成り立ちません。一方通行になりがちな「教える」ということを一緒に取り組むことに少しでも近づけていくためには、学び合うといった姿勢が生徒との相互関係を築いていくことに繋がり、より良い学びになっていくのです。新米スタッフですが来週からも学び合っています。

がつ きょうむつ よ て い
10・11月の教室予定

月	川口パートナーステーション(火曜日)					栄町公民館(金曜日)				
10月	4日	11日	18日	25日	—	7日	14日	21日	28日	—
11月	1日	8日	15日	22日	28日	4日	11日	18日	25日	—

 休み

スタッフ会議 (10月 25, 28日)

学習は8時までになります。

スタッフは必ず出席しましょう。火、金に関わっているスタッフは両方出ましょう

スタッフ会議主議題
 芋掘りについて
 スタッフ交流会について
 新年会について
 栄町公民館移動について

事務局コーナー

事務局会議 10月12日(水)(第2水曜日)
 川口パートナーステーション(19時より)
 署名活動 10月16日 川口駅



31周年集会

スタッフ 生徒は参加しよう!!

もう待てない 埼玉に夜間中学を!!

—埼玉の夜間中学運動31周年—

「埼玉に夜間中学を作る会」・「川口自主夜間中学」

日時 2016年10月29日 午後1時30分～午後5時

場所 かわぐち市民パートナーステーション(川口駅東口2分)

資料代 200円(生徒は無料) (懇親会は別料金)

プログラム

第1部報告

埼玉に夜間中学を作る会

川口自主夜間中学

第2部講演

「議員立法成立後の文部科学行政について」

前川喜平文部科学事務次官

はやくほくのわたしの
 行ける学校作って

